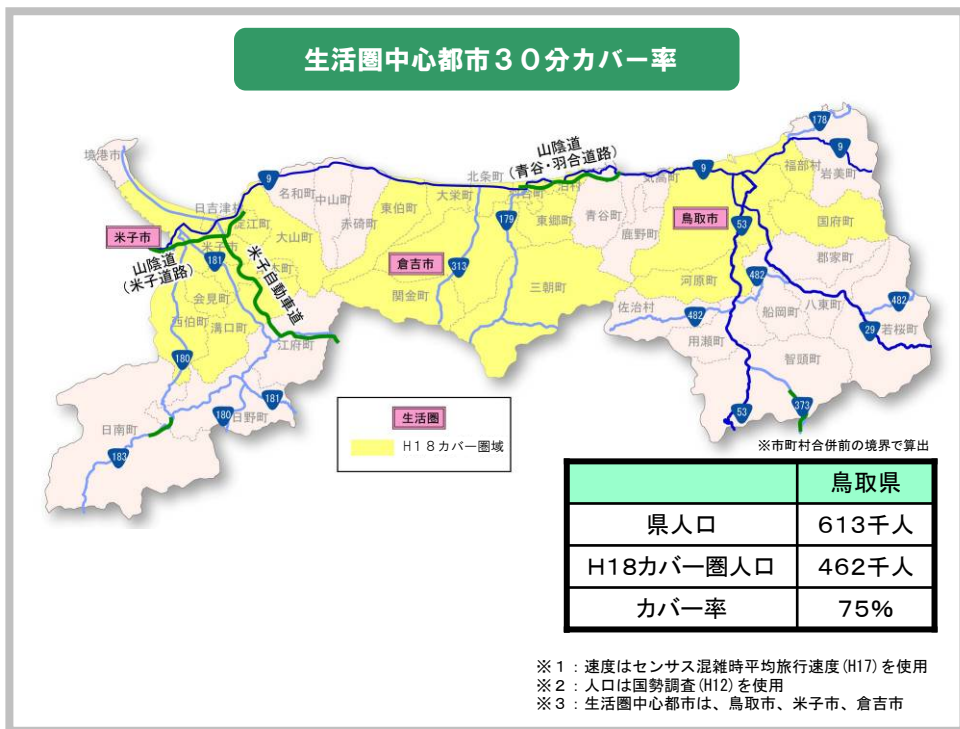


住民生活をもっと豊かにする

生活圏中心都市30分カバー率

1 鳥取県の現状

- 鳥取県における生活圏の中心都市は、鳥取市、米子市、倉吉市の3都市です。
- これらの都市いずれかに30分以内に到達できる人口割合は75%（平成18年度値）です。



2 昨年度の成果（達成度報告）

- 平成18年度は、名和・淀江道路、東伯・中山道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、駈馳山バイパス、北条倉吉道路などの整備を推進しました。このうち、北条倉吉道路が供用しましたが、既にカバー圏に含まれていたため、生活圏中心都市30分カバー率の値は変わりませんでした。ただし、生活圏中心都市までのアクセス時間が短縮されました。
 →「TOPICS 北条倉吉道路」参照（下記）

TOPICS ～北条倉吉道路開通で倉吉市がより近くに～

- ・北条倉吉道路は、鳥取県中部と岡山県北部の地域連携を促進する北条湯原道路の一部を担う道路であり、産業の活性化や住民の利便性向上が期待されています。
- ・当道路の利用により、国道9号(北条バイパス)方面から、倉吉市までの所要時間が短縮しました。



国道9号～倉吉市まで
 整備前 整備後
約16分→約10分
(約6分短縮)

- ※1：速度はセンサス混雑時平均旅行速度(H17)を使用
- ※2：北条倉吉道路は70km/hを使用

3 本年度のとりくみ（業績計画）

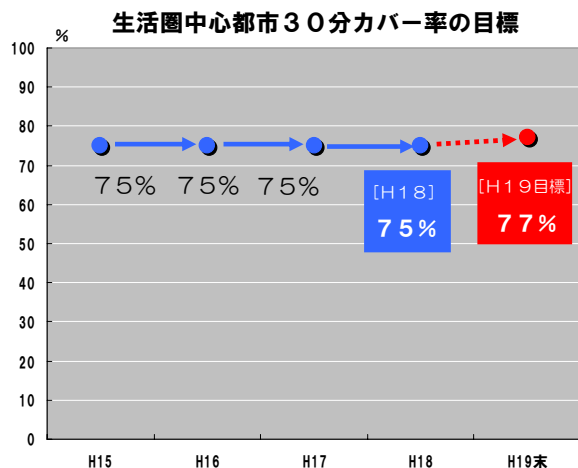
■平成19年度には、名和・淀江道路の整備により、生活圏中心都市30分圏カバー率が拡大されます。

→「名和・淀江道路」P. 31参照

■よって、アウトカム指標の目標値は、2ポイント上昇の77%と設定します。

■また、生活圏中心都市30分圏カバー率の向上が期待できる他の事業箇所も、早期供用を目指して整備を推進します。

→各事業の進捗状況はP. 6～7参照



H19年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	期待される効果	備考
国土交通省	名和・淀江道路 ※延伸部を除く	生活圏中心都市30分圏カバー率の拡大	P31参照
国土交通省	志戸坂峠道路	生活圏中心都市へのアクセス時間短縮	—



■生活圏中心都市30分圏カバー率が向上すると移動時間が短縮し、買い物等に行きやすくなるなど、地方に住む人の生活がより豊かになると考えられます。



※1：速度はセンサス混雑時平均旅行速度（H17）を使用
※2：名和・淀江道路は70km/hを使用